

2019年の始まりです

今年も図書館をご利用ください。図書館では様々なテーマで展示を行っています。ぜひご覧ください。

本館にて

新成人に贈る川柳展

期間 1/5 (土) ~ 1/24 (木)

昨年度の可児市成人式に飾られた、「新成人に贈る川柳」を展示します。また、新成人の皆さんをはじめとした、若い人たちへのお勧め本を展示します。

人間国宝の作品と暮らしを一緒に鑑賞できる、荒川豊蔵資料館の紹介展

期間 1/26 (土) ~ 2/21 (木)

久々利の荒川豊蔵資料館では、旧居宅や陶房も公開されています。人間国宝の作品と、その制作活動を支えた環境を一体的に鑑賞できます。四季折々の木々や草花の姿とともに紹介します。

帷子・桜ヶ丘分館にて

漫画「ジュニオール」複製原画展

帷子分館 期間 1/9 (水) ~ 24 (木)

桜ヶ丘地区センターロビー

期間 2/6 (水) ~ 18 (月)

『ジュニオール』(灰谷音屋/作 秋田書店)は、可児市を舞台にした高校サッカー漫画です。この複製原画展では、作中に登場する市内の風景写真とともに楽しめます。

「ジュニオール」展
本館1階でも行われています。
1月6日(日)まで。



職員のおすすめ《この書き手に注目!》

内山 節

(うちやま たかし 1950年東京都生まれ)
1970年代から群馬県上野村と東京を往復する暮らしを続ける。『文明の災禍』(新潮社)、『内山節のローカリズム原論』『内山節著作集(全15巻)』(いずれも農山漁村文化協会)等、著書多数。

著者は本市とも繋がりが深く、平成19年から定期的に、「地域の暮らし・地域の文化について」をテーマとした講演会を市民団体主催により開催してみえます。多数著書がある中、『新・幸福論 「近現代」の次に来るもの』(新潮社)を紹介します。

近現代の先進諸国は、政治、経済等に常に「目標」を設定し、そこに向かって突き進んできました。日本も同様で、一人ひとりには、ときにだいそれた、ときにはささやかな目標があり、国や社会、経済にも「欧米」という目標がありました。目標に到達することができれば、必ず幸せな生活、社会が待っている、と。でも、たどり着いたのは、手ごたえのない、充実感の薄い成熟社会。18世紀のヨーロッパ、明治維新後の日本まで遡り、近現代の構造と宿命を解き明かし、歴史の転換を見据える大胆な論考を展開しています。ぜひ、皆さんの生き方に引き寄せてみては?

(分館長 佐藤)

さくら ももこ

(1965~2018年 静岡県生まれ)
1986年に雑誌『りぼん』で漫画「ちびまる子ちゃん」連載を開始。89年同作品で講談社漫画賞受賞。著書に『もものかんづめ』『まるむし帳』『ももこの宝石物語』(いずれも集英社)、『そういうふうになっている』(新潮社)、『ももこの70年代手帖』(幻冬舎)等、多数。

今回紹介するのは、昨年夏にご逝去されたさくらももこさんです。『まる子だった』(集英社文庫)は、クラスメイトと体育館の裏で飼った仔犬との別れ、ノストラダムスの大予言におびえた日々、憧れのモモエちゃんのコンサートで渡したファンレターなど、自分も小学生の頃にタイムスリップできる懐かしさいっぱいの一冊です。

ももこさんは50代という年齢で亡くなられ、同世代の私は非常に寂しく、残念ですが、同じ時代に生きた「まる子」であったももこさんはこの本の中では健在です。今年で平成も終わり、新しい時代になりますが、懐かしい昭和だった子どもの頃と重ね合わせて、また、まる子節にクスッと笑いながら、読んでみてはいかがでしょうか。

(本館 横田)

あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
心理・宗教			
147/サ/	冥界からの電話 ある日、死んだはずの少女から電話がかかってきた。数々の超常現象に見舞われてきた著者が巻き込まれた不思議な出来事とは。実体験から伝える渾身のメッセージ。	佐藤愛子／著	新潮社
175.9/シ/	神社のどうぶつ図鑑 神社の像や装飾、お札、おみくじにひしめく動物たちに隠されたひみつとは。動物・霊獣の由来・ご利益とともに、動物パワーで福を呼ぶ神社 162 社を紹介する。	茂木貞純／監修	二見書房
歴史・伝記			
289.1/ア/	図説明智光秀 丹波攻めとその経営手腕、信長が頼った戦略眼と調略、比叡山焼き討ち、裏切られ裏切った戦国のならない…。「真実」の明智光秀像を探るべく、光秀自身のみならず、一族や家臣、伝承も含めて追求し、図版を多用して解説する。	柴裕之／編著	戎光祥出版
291.0/ニ/	日本 200 年地図 江戸、明治大正、昭和、平成。同じ都市を 4～5 時代で見比べると、その歩みと変貌がわかる。全国 130 都市・161 地域を対象に伊能図から現代図までを収録した「都市の歴史地図帳」。	今尾恵介／監修	河出書房新社
社会			
302.2/ム/	THE LAST GIRL 貧しくも平和な村での暮らし。しかし、イスラム国の脅威は次第に強まり、虐殺と収奪の日々が訪れ…。戦下における武器としての性暴力の根絶に尽力し、2018 年ノーベル平和賞を受賞した著者が、自身の壮絶な経験を物語る。	ナディア・ムラド／著	東洋館出版社
361.1/ア/	「もしもあの時」の社会学 if の思考は、実現しなかった願望、失敗に終わった計画など、「ありえたかもしれない未来」の把握を可能にする。SF のディック、歴史学のファーガソンらを取り上げてその思考を検討、「歴史の if」の可能性を指し示す。	赤上裕幸／著	筑摩書房
366.3/ム/	ここからセクハラ! 「美人だね」の何が悪い? セクハラグレーゾーンがわかる、新時代を生きるビジネスパーソンのための指南書。男性から女性への典型パターンを取り上げ、漫画を交えて解説。「部長、その恋愛はセクハラです!」に続く第 2 弾。	牟田和恵／著	集英社
379.9/タ/	子どもの「困った」が才能に変わる本 「育てにくい子」への“ダメ出し”をやめて“いいところ”ととらえると、子どもが変わる! 乳児期、幼児期、小学生、思春期の発達段階別に、子どもの独自の特徴を才能として活かす方法を紹介する。	田嶋英子／著	青春出版社
自然科学・医学			
412/ニ/	素数の未解決問題がもうすぐ解けるかもしれない。 数学者たちは、双子素数予想の「2」にたどり着けるのか? ゴールドバッハ予想、フェルマーの最終定理など、周辺のさまざまな問題に寄り道しつつ、世界を巻き込んだ共同研究の行方を追う。	ヴィッキー・ニール／著	岩波書店
494.7/カ/	あなたの指先、変形していませんか? 手の第一関節が変形するヘバーデン結節は、推定患者数 500 万人の「隠れた国民病」。足、ひざ、腰、背骨、首に起きると見逃されて悪化や重症化しやすいヘバーデン結節の予防と治し方を解説する。	笠原巖／著	自由国民社
498.3/キ/	物忘れ・認知症を撃退!脳がよみがえるきくち体操 脳を使って体を動かし、脳が本来持っている可能性を引き出す「きくち体操」。驚きの若さが話題の創始者が、体操のキモがわかるように、写真やイラストを用いて詳しく解説します。	菊池和子／著	宝島社
技術・家政			
527/ネ/	猫と暮らす住まいのつくり方 猫の気持ちになった家づくりを解説し、猫と人が幸せな生活を送れる家の実例、間取りなどを紹介する。業者選び、内装材、予算、プランニングなどの実践的なアドバイスや、猫アスレチックのつくり方、危険対策についても掲載。	金巻とも子／監修	ナツメ社

596.3/ス/	野菜のおいしい冷凍・解凍	鈴木徹／著	毎日新聞出版
	冷凍学の権威と人気のラク家事アドバイザーが、野菜冷凍のワザを紹介する。作り置き・時短・カラダによいをテーマに、食品ロスを回避し、栄養価もアップするテクニックが満載。		
産業			
611.1/キ/	奇跡の集落	多田朋孔／著	農山漁村文化協会
	廃村寸前の限界集落は、どうやって奇跡の再生を遂げたのか？新潟県十日町市の山間部にある池谷集落の地域再生の経緯をたどる。さらに、池谷集落に移住した著者の実体験を通して、地域おこしのノウハウを解説する。		
659/タ/	モリさんの狩猟生活	高柳盛芳／語り	山と溪谷社
	いくら鉄砲がよくてもクマは獲れねえ。クマはな、度胸で獲るんさ。群馬・奥利根の名クマ猟師・モリさんこと高柳盛芳が語る狩猟生活。高齢過疎化、獣害…。「野の人」は時間の変化をどう見てきたのかをあらためて問う。		
芸術			
750.4/ア/	どっちつかずのものづくり	安藤雅信／著	河出書房新社
	生活工芸の裾野を広げる美術と暮らしの捉え方。工芸、美術、生活を繋ぐ、陶作家・安藤雅信が、陶歴 36 年の歩みを辿る作品論&エッセイ集。坂田和實、村上隆、大友良英、皆川明との対談も収録する。		
芸能・スポーツ			
767.8/サ/	蒼い空へ	木本美紀／著	小学館
	2018 年 5 月、63 才という早すぎる人生の幕をおろした西城秀樹。その妻が、17 年の壮絶なる闘病生活や、最期までステージをあきらめなかった男の真実を語る。プライベート写真を含む未公開ショットも収録する。		
782.3/ゼ/	ゼロから始めるフルマラソンの本	内山雅博／監修	榎出版社
	レベル別トレーニング・プラン、コンディショニングのコツ、レース当日の注意点など、フルマラソンを完走するためのステップ・アップ式トレーニングを紹介する。マラソン大会ガイド、ビギナーランナーのための Q&A も収録。		
783.7/オ/	決断=実行	落合博満／著	ダイヤモンド社
	選手の時も監督の時も、ただ野球という仕事に取り憑かれた。そうすれば、何も迷うことはなかった。落合博満が、自分なりに決断し、実行できる人間になることが、思うがままに生きていくことになるかと伝える。		
日本文学—小説			
913.6/アマ/	雑賀のいくさ姫	天野純希／著	講談社
	イスパニアに生まれたジョアンは、乗り込んだ船での内紛と難破のはてに、紀伊雑賀のいくさ姫、鶴に拾われ…。戦国末期、雑賀水軍の姫・鶴が西国大名たちとともに、日本に迫る大船団に一大海戦を挑む歴史海洋冒険小説。		
913.6/オキ/	それでも空は青い	荻原浩／著	KADOKAWA
	年上の彼女との距離が縮まらないのは、彼女が“牛男”と暮らしているせいで…。「僕と彼女と牛男のレシピ」ほか、人づきあいに悩む背中をそっと押してくれる 7 つの物語を収録。		
913.6/カミ/	アトラス	神永学／著	新潮社
	未来に起きる殺人を 100%の確率で予知するクロノシステムを擁する警視庁。暗殺のターゲットが上司・唐沢であることを知り、真田と黒野は阻止すべく動き出すが、最強の敵・アレスが…。「天命探偵」シリーズ第 7 弾、完結。		
913.6/クロ/	流砂	黒井千次／著	講談社
	70 歳の息子は思想検事だった父の記した「思想犯の保護を巡って」自己の所信を開陳した報告書を見つけた。息子は父の過去に向き合い、己の来し方を確かめようとしはじめる…。自伝的長篇小説。		
913.6/コン/	キンモクセイ	今野敏／著	朝日新聞出版
	法務官僚の神谷が殺された。警察庁警備局の隼瀬は神谷が日米合同委員会に関わっていたこと、“キンモクセイ”という謎の言葉を残していた事実を探り当てるが…。警察インテリジェンス小説。		
913.6/サイ/	雨上がり月霞む夜	西條奈加／著	中央公論新社
	火事で店を失った秋成は、幼なじみの雨月が結ぶ庵に居候することに。だが雨月は、妖しを引き寄せる体質で…。「雨月物語」に大胆な現代的解釈を試みた珠玉の連作短篇集。全 9 篇を収録する。		

913.6/シン/	こちら横浜市港湾局みなと振興課です 山下公園前に浮かぶ氷川丸、象の鼻パーク、コスモワールドの観覧車、戦前にあった船員下宿、外国人居留区、横浜開港祭…。みなと振興課の名コンビが、ヨコハマに隠された謎を解き明かす!	真保裕一／著	文藝春秋
913.6/ハラ/	常設展示室 パリ、NY、東京。世界各地の美術館で、人生の岐路に立つ人々が出会う、運命を変える一枚。アート小説の第一人者が、美術館の片隅で繰り広げられる人間ドラマを描く短篇集。	原田マハ/[著]	新潮社
913.6/マツ/	芙蓉の干城(たて) 日中戦争の足音迫る、昭和8年東京。歌舞伎の殿堂に現われた右翼結社の大幹部と芸妓が惨殺。江戸歌舞伎作者の末裔で、切れ者の大学講師・桜木治郎が、怪事件の謎に挑む!	松井今朝子／著	集英社
913.6/モリ/	熱帯 沈黙読書会で見かけた奇妙な本「熱帯」。それは、どうしても「読み終えられない本」だった。結末を求めて悶えるメンバーが集結し、世紀の謎に挑む!	森見登美彦／著	文藝春秋
913.6/ヨシ/	第六天の魔王なり 稀代の武将・織田信長は、反抗するものを根絶やしにした魔性の権化だったのか。それとも、民のため、理想の世を切り拓くために命を賭した名将だったのか。謎多き男の内面的核心に迫る長篇小説。	吉川永青／著	中央公論新社
日本文学—エッセイ			
914.6/ヤマ/	おばちゃん介護道 日々、老老介護。ときどき、朗朗介護。介護は辛くて苦しいだけじゃない。独身・還暦の作家が91歳・要介護2の母との日々を綴った、笑い愛情たっぷりの介護エッセイ。	山口恵以子／著	大和出版
914.6/ヨウ/	猫も老人も、役立たずでけっこう まるは、私の生きることの“ものさし”である。NHK「ネコメンタリー 猫も、杓子も。」から生まれた、養老孟司と愛猫・まるの老老コンビが贈る痛快エッセイ。	養老孟司／著	河出書房新社

新春かるた会のご案内

図書館・読書サークル共催事業 **百人一首大会** を開催します。初心者・経験者に分かれてゲームをします。大人も子どもも、気軽に参加してください。

日時：1月26日(土) 午前9時30分から11時30分まで

会場：広見地区センター(図書館ではありませんのでご注意ください)

参加費：無料 申込み受付：1月5日(土)から

申込・問合先：可児市立図書館本館 電話(0574)62-5120



貸出カードの登録内容を確認します

図書館の貸出カードの有効期限は**3年**です。有効期限が近づいた方にはカウンターでお声かけし、住所・電話番号等の確認を行います。登録内容の確認のため、住所の証明できるものをご提示ください。ご本人がご来館ください。高校生以下の方は、保護者の方の証明でも可能です。

有効期限が切れても、貸出・予約等はできますが、ホームページ上での貸出更新ができません。また、期限から3年を経過すると、カードは除籍になりますのでご注意ください。

開館時間 【本館】平日 10:00~19:00、
土日祝 10:00~17:00
【分館】全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日
1月 1~4,7,14,21,25,28日

スマートフォン用
サイト



「図書館だより」2019年1月号

発行：可児市立図書館 電話(0574)62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。